

## 【研究発表】

「\*」発表者

口頭発表 9月22日(木)		
セッション A 緑化		
09:00	O-A-01	連続繊維複合補強土工による樹林化のり面の UAV 搭載型レーザースキャナーを併用した植生追跡調査 *山梨 太郎 1, 2、佐藤 康弘 1, 2、近藤 保徳 1, 2、土田 萌 1、山田 守 2 1.日特建設株式会社, 2.ジオファイバー協会連合会
09:15	O-A-02	ヘデラ類ポット苗の茎の引張強度への灌水抑制の効果 *大澤 啓志 1、室橋 美早紀 2、馬場 湧作 3、岡田 陽介 4、清水 秀一 5 1.日本大学生物資源科学部, 2.株式会社グリーンアンドアーツ, 3.西武造園株式会社, 4.株式会社グリーンニアン, 5.清水園芸
09:30	O-A-03	ニホンジカの採食行動における不嗜好性順位に関する実験 *大西 貴一 1、中村 剛 2, 3、藤原 宣夫 2 1.大阪府立大学大学院生命環境科学研究科, 2.大阪公立大学大学院農学研究科, 3.日本植生株式会社
09:45	O-A-04	物理的性質が異なるウレタン樹脂の植栽基盤としての適性の検討 *紀 昊青 1、高橋 輝昌 1、人見 拓哉 1、王 玲玲 1、長谷川 啓示 2 1.千葉大学園芸学研究科, 2.アップコン株式会社
10:00	O-A-05	令和元年房総半島台風による広葉樹林被害要因の GIS 解析 *小林 達明 1、清水 海優 2、加藤 顕 1、高橋 輝昌 1、丸山 喜久 3 1.千葉大学大学院園芸学研究院, 2.千葉大学園芸学部, 3.千葉大学大学院工学研究院
10:15	O-A-06	自然公園における地域性種苗の緑化普及を目指した予備的調査 *中村 華子 1、杉万 裕一 2、山下 淳一 3、中島 敦司 4 1.緑化工ラボ, 2.株式会社一成, 3.環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所, 4.和歌山大学システム工学部
10:30	O-A-07	10種類の草本植物の根系を含む土供試体のせん断特性に関する経年評価 *宗岡 寿美 1、新田 祥吾 1, 2、山崎 由理 3, 4、木村 賢人 1、辻 修 1, 5 1.帯広畜産大学, 2.新田農場, 3.東京農業大学, 4.鳥取大学農学部, 5.(株)ズコーシヤ

セッション B 保全生態		
10:45	O-B-01	<p>農地景観における森林特性がフクロウの分布に与える影響</p> <p>*森田 季恵 1、赤坂 卓美 1、外山 雅大 2</p> <p>1.帯広畜産大学, 2.根室市歴史と自然の資料館</p>
11:00	O-B-02	<p>トキ野生復帰推進の社会的枠組みとその課題</p> <p>*岩浅 有記 1, 2、鎌田 磨人 3</p> <p>1.徳島大学大学院先端技術科学教育部, 2.大正大学地域構想研究所, 3.徳島大学大学院社会産業理工学研究部</p>
11:15	O-B-03	<p>環境アセスメントにおけるキンランの効果的な移植技術の開発</p> <p>*長浜 庸介 1、上野 裕介 1, 2、遊川 知久 3、大城 温 1</p> <p>1.国土交通省国土技術政策総合研究所, 2.石川県立大学生物資源環境学部, 3.国立科学博物館筑波実験植物園</p>
11:30	O-B-04	<p>淡路島におけるチドリ類をフラッグシップとした 保全ネットワークの構築と実践</p> <p>*立田 彩菜 1, 4、藤原 道郎 2, 3</p> <p>1.パシフィックコンサルタンツ株式会社, 2.兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科, 3.淡路景観園芸学校, 4.兵庫県立大学</p>
11:45	O-B-05	<p>耕作放棄された谷津の湿地化は水生動物群集にどのような効果をもたらすか？</p> <p>*田和 康太 1、平野 佑奈 2、松島 野枝 2、加藤 大輝 2、橋本 純 3、渡部 陽介 3、西廣 淳 1</p> <p>1.国立環境研究所, 2.東邦大学, 3.清水建設(株)</p>

セッション C 外来種		
09:00	O-C-01	刈取り回数の違いがヨシススキとススキの種間競合の優位性に及ぼす影響 *稲垣 栄洋 1、小林 陽平 1 1.静岡大学
09:15	O-C-02	三春ダムにおける外来魚の継続的な防除でみられた在来魚等の確認状況の変化 *坂本 正吾 1、稲川 崇史 1、沖津 二郎 1、中井 克樹 2、大杉 奉功 3、松崎 厚史 4、佐々木 良浩 4 1.応用地質株式会社, 2.滋賀県立琵琶湖博物館, 3.一般財団法人水源地環境センター, 4.国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所
09:30	O-C-03	環境 DNA を用いた江の川水系におけるオオカナダモの季節的繁茂特性の把握 *宮平 秀明 1、宮園 誠二 1、赤松 良久 1 1.山口大学大学院
09:45	O-C-04	ダム湖の外来魚オオクチバスにおける新たな駆除効果の評価方法の開発; 大規模 DNA 分析を用いた高精度近親関係解析による個体数推定法の適用 奥村 健太 1、野原 健司 1、井戸 啓太 2、坂本 正吾 3、稲川 崇史 3、沖津 二郎 3、松崎 厚史 4、佐々木 良浩 4、大杉 奉功 5、秋田 鉄也 6、田原 大輔 7、*武島 弘彦 7 1.東海大学 海洋学部, 2.京都大学大学院 理学研究科, 3.応用地質, 4.国交省三春ダム管理所, 5.水源地環境センター, 6.水産研究・教育機構 水産資源研究所, 7.福井県立大学 海洋生物資源臨海研究センター
10:00	O-C-05	冬季ダム湖におけるオオクチバス ( <i>Micropterus salmoides</i> ) の行動生態の解明 *山本 竜司 1、長岡 祥平 1、佐藤 信彦 2、南 憲吏 3、黒田 充樹 1、稲川 崇史 4、坂本 正吾 4、沖津 二郎 4、大杉 奉功 5、白川 北斗 6、東 信行 7、上田 健太 1、中森 陸 1、宮下 和士 2 1.北海道大学大学院環境科学院, 2.北海道大学北方生物圏フィールド科学センター, 3.島根大学 エスチュアリー研究センター, 4.応用地質株式会社, 5.一般財団法人水源地環境センター, 6.国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所, 7.弘前大学 農学生命科学部

セッション D 環境DNA		
10:15	O-D-01	<p>環境 DNA 分析の新展開:系統地理学への適用とその有用性の検証</p> <p>*辻 冨月 1、芝田 直樹 2、乾 隆帝 3、中尾 遼平 4、赤松 良久 4、渡辺 勝敏 1</p> <p>1.京都大学, 2.(株)環境総合リサーチ, 3.福岡工業大学, 4.山口大学</p>
10:30	O-D-02	<p>環境 DNA 分析によるダム湖におけるアユの生息場利用および季節動態の把握</p> <p>*中尾 遼平 1、辻 冨月 2、中原 忠義 3、内藤 信二 3、滝本 雅之 3、馬場 貴裕 3、赤松 良久 1</p> <p>1.山口大学大学院創成科学研究科, 2.京都大学大学院理学研究科, 3.(独)水資源機構</p>
10:45	O-D-03	<p>溪流保全工が整備された区間における環境 DNA 調査の適用</p> <p>鈴木 啓介 1、戸田 満 1、川邊 三寿帆 1、谷川 優太 1、島村 彰 2、*横山 良太 2、関根 洋 2、釣 健司 2</p> <p>1.国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所, 2.株式会社 建設環境研究所</p>
11:00	O-D-04	<p>MiFish 領域にみられる魚類の流域スケールでの空間遺伝構造</p> <p>*中島 颯大 1、菅野 一輝 1、村岡 敬子 1、篠原 隆佑 1、崎谷 和貴 1、金谷 将志 2</p> <p>1.土木研究所, 2.国土交通省</p>
11:15	O-D-05	<p>気候変動に対する魚類分布域の応答予測に関する基礎的検討</p> <p>*滝山 路人 1、赤松 良久 2、大中 臨 2、小林 勘太 3、宮園 誠二 2、乾 隆帝 4、中尾 遼平 2</p> <p>1.山口大学工学部社会建設工学科, 2.山口大学大学院創成科学研究科, 3.(株)建設環境研究所自然環境部, 4.福岡工業大学社会環境学部社会環境学科</p>
11:30	O-D-06	<p>河川水を対象とした鳥類の環境DNAメタバーコーディング解析の検出特性</p> <p>*篠原 隆佑 1、田和 康太 2、菅野 一輝 1、村岡 敬子 1、崎谷 和貴 1</p> <p>1.(国研)土木研究所, 2.(国研)国立環境研究所</p>
11:45	O-D-07	<p>環境 DNA 手法を用いた江の川浜原ダム下流における魚類の季節変動の把握</p> <p>*花岡 拓身 1、赤松 良久 1、丸山 啓太 1、宮園 誠二 1、中尾 遼平 1、齋藤 稔 2</p> <p>1.山口大学大学院創成科学研究科, 2.国際農林水産業研究センター</p>

セッション E グリーンインフラ		
09:00	O-E-01	雨庭に適した緑化植物の選定:多年草草本 15 種の冠水耐性の検証 *水口 将武 1、阿野 晃秀 1 1.京都先端科学大学大学院
09:15	O-E-02	緑地の降雨の浸透能を必要な精度で簡便に推定できる手法の検討 *戸田 克稔 1 1.国立研究開発法人建築研究所
09:30	O-E-03	緑地が有する雨水貯留浸透機能の評価方法に関する調査研究 *金 甫炫 1、大石 智弘 2 1.国土交通省 国土技術政策総合研究所, 2.内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部
09:45	O-E-04	つくば市における芝畑のグリーンインフラ効果-雨水浸透に着目した評価- *劉 山 1、藤田 直子 2 1.筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群芸術学学位プログラム(博士前期過程), 2.筑波大学芸術系
10:00	O-E-05	大学キャンパスの多面的機能評価に関する研究 *中河 名生 1、須藤 朋美 2、伊東 啓太郎 2、石塚 直登 2 1.九州工業大学大学院工学府, 2.九州工業大学大学院工学府工学研究員
10:15	O-E-06	Eco-DRR の視点からみた土地利用による景観パターンの変化に関する研究——東京と上海を例として *唐 明暉 1、藤田 直子 2 1.筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 芸術学学位プログラム 博士後期課程, 2.筑波大学 芸術系 教授
10:30	O-E-07	複数の霞堤を有する長良川谷底平野部における多段階洪水外力下での氾濫現象 *中島 大雅 1、原田 守啓 2、瀧 健太郎 3 1.岐阜大学大学院自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻, 2.岐阜大学准教授 流域圏科学研究センター, 3.滋賀県立大学准教授 環境科学部
10:45	O-E-08	Revisiting the trending green infrastructure horizons towards sustainability – A review of research for the last 10 years (2012–2022) – *Herath Mudiyansele Malhamige Sonali Dinesha Herath 1、Mudalige Don Hiranya Jayasanka Senavirathna 1、Fujino Takeshi 1 1.Department of Science and Engineering, Saitama University, Japan
11:00	O-E-09	宮城県気仙沼市大谷海岸における海岸防潮堤法面への覆砂と自生種導入効果について *松島 肇 1、黒沢 高秀 2、島田 直明 3、平吹 喜彦 4、岡 浩平 5、鈴木 玲 6、大越 陽 7、徐 夢林 7 1.北海道大学大学院農学研究院, 2.福島大学, 3.岩手県立大学, 4.東北学院大学, 5.広島工業大学, 6.北の里浜 花のかけはしネットワーク, 7.北海道大学大学院農学院

セッション F 環境修復		
11:15	O-F-01	海岸防災林復旧事業地における生物多様性保全対策の取組み *安藤 みゆ 1、小山 浩之 1、中静 透 2 1.国土防災技術株式会社, 2.国立研究開発法人 森林研究・整備機構
11:30	O-F-02	国立公園内における移入種除去及び植生遷移モニタリング事例報告 *伊豆 凜太郎 1、真木 伸隆 1、土岐 君仁 1、上田 夏希 1、鬼久保 浩正 1、渡辺 有紀 1、青森県上北地域県民局 地域整備部 1.パシフィックコンサルタンツ(株)
11:45	O-F-03	民間資本導入による自然保護区管理体制強化で山火事被害を防止し森林を再生した事例 *家根橋 圭佑 1、浅野 剛史 1、吉野 倫典 1 1.日本工営株式会社
セッション G ランドスケープ計画		
13:30	O-G-01	樹木葬墓地の全国的な展開と緑地空間における景観評価 *今泉 優子 1、藤田 直子 2 1.筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究軍芸術学学位プログラム(博士前期課程), 2.筑波大学芸術系
13:45	O-G-02	富山県砺波地方における明治期以降の自然災害の変遷 *王 聞 1、柴田 昌三 1、深町 加津枝 1 1.京都大学地球環境学堂
14:00	O-G-03	自然・文化景観の保全と継承に関する研究-福岡県福津市を対象として- *坂本 裕哉 1、伊東 啓太郎 2、須藤 朋美 2 1.九州工業大学大学院工学府, 2.九州工業大学大学院工学研究院
14:15	O-G-04	Study on the Designation of the first National Park in the world *口井 隆司 1 1.和歌山大学
14:30	O-G-05	農福連携を促す農園のランドスケープの空間特性 *田 子楽 1、藤田 直子 2 1.筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群芸術学学位プログラム(博士後期課程), 2.筑波大学芸術系

セッションH 環境マネジメント		
14:45	O-H-01	デジタル技術を用いた公園管理の取り組み *金子 是久 1 1.北総生き物研究会
15:00	O-H-02	多主体協働による里山のマネジメント手法に関する研究 *緒方 悠磨 1、長谷川 逸人 1、伊東 啓太郎 2 1.九州工業大学大学院工学府, 2.九州工業大学大学院工学研究院
15:15	O-H-03	金融業界と生物多様性—徳島県における株主コミュニティの取り組み *朝波 史香 1、泊 健一 2、鎌田 磨人 1 1.徳島大学大学院社会産業理工学研究部, 2.徳島合同証券株式会社
セッションI 生態系サービス		
15:30	O-I-01	京都市左京区鞍馬における伝統文化と生物多様性のための里山再生 *深町 加津枝 1 1.京都大学
15:45	O-I-02	漬物作りを通じた自然資本の持続可能な利用に関する日中比較 —山形県と中国四川省における文化的景観の形成— *スン スシエア 1、藤田 直子 2 1.筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群芸術学学位プログラム(博士後期課程), 2.筑波大学芸術系
16:00	O-I-03	開花展葉判定によるトチノキ( <i>Aesculus turbinata</i> )個体群のフェノロジー評価 *飯田 義彦 1 1.筑波大学
15:00	O-I-04	中山間地域におけるコミュニティ・ビジネスのコアとしての山菜料理屋「みたき園」 —自然資本をサービスに転換するための知恵と社会関係資本— *横畑 健介 1、大元 鈴子 2、丹羽 英之 3、鎌田 磨人 4 1.徳島大学工学部社会基盤デザインコース, 2.鳥取大学地域学部, 3.京都先端科学大学, 4.徳島大学大学院社会産業理工学研究部

セッション J 河川環境		
13:30	O-J-01	<p>中聖牛を設置した木津川の高水敷たまりでの洪水攪乱と季節による水生生物群集の変化</p> <p>*石田 裕子 1、中村 萌 2、片野 泉 3、竹門 康弘 4</p> <p>1.摂南大学理工学部都市環境工学科, 2.奈良女子大学大学院人間科学研究科, 3.奈良女子大学大学院自然科学系, 4.京都大学防災研究所</p>
13:45	O-J-02	<p>那賀川上流域の異なる土砂供給区間におけるコウモリの活動量比較</p> <p>*相江 広紀 1、佐藤 雄大 1、赤坂 卓美 2、河口 洋一 1</p> <p>1.徳島大学, 2.帯広畜産大学</p>
14:00	O-J-03	<p>iRIC を用いた魚道の遡上シミュレーション</p> <p>*藤田 朝彦 1、加藤 康充 1、富田 邦裕 1、久加 朋子 2、清水 康行 3</p> <p>1.(株)建設環境研究所, 2.富山県立大学工学部, 3.北海道大学大学院工学研究院</p>
14:15	O-J-04	<p>砂州河道の河道掘削が瀬淵の生態的機能に及ぼす影響</p> <p>*原田 守啓 1、永山 滋也 2、萱場 祐一 3</p> <p>1.岐阜大学流域圏科学研究センター, 2.岐阜大学地域環境変動適応研究センター, 3.名古屋工業大学</p>
14:30	O-J-05	<p>UAV を使い取得した熱赤外オルソモザイク画像を用いた河川の水温分布の把握</p> <p>*丹羽 英之 1、金谷 都洋嗣 1</p> <p>1.京都先端科学大学</p>
14:45	O-J-06	<p>河川流域の感熱特性を流域と河道の特徴から理解する —中国地方 3 流域を例に—</p> <p>*溝口 裕太 1、赤松 良久 2、宮本 仁志 3、崎谷 和貴 1</p> <p>1.土木研究所, 2.山口大学大学院, 3.芝浦工業大学</p>
15:00	O-J-07	<p>火山山麓での二酸化炭素ガス湧出をともなう湧水域の水質と付着物の特性</p> <p>*宇佐見 亜希子 1、田代 喬 1、野崎 健太郎 2、松本 嘉孝 3、江端 一徳 3、谷口 智雅 4、坪井 秀樹 5、八木 明彦 6、岩月 栄治 6</p> <p>1.名古屋大学減災連携研究センター, 2.椋山女学園大学, 3.豊田工業高等専門学校, 4.三重大学, 5.一般財団法人東海技術センター, 6.愛知工業大学</p>
15:15	O-J-08	<p>河川生態系モデルを用いた気候変動に伴う水温上昇が水生生物に及ぼす影響に関する検討</p> <p>*福丸 大智 1、赤松 良久 1、小林 勸太 2</p> <p>1.山口大学創成科学研究科, 2.株式会社 建設環境研究所自然環境部</p>
15:30	O-J-09	<p>都市河川豊平川における水温レフュージ</p> <p>*根岸 淳二郎 1、中村 慎吾 2、折戸 聖 3、有賀 望 2、根岸 鈴 4、根岸 豊 5、中村 太士 1</p> <p>1.北海道大学, 2.札幌市豊平川さけ科学館, 3.北海道栽培漁業振興公社, 4.札幌第一高等学校, 5.札幌南高等学校</p>

15:45	O-J-10	洪水が小規模の人工ワンドの生物生息空間に与える影響 *阿部 晟大 1、田中 耕司 2、中西 史尚 3 1.大阪工業大学大学院, 2.大阪工業大学, 3.河川財団
16:00	O-J-11	亜熱帯性島嶼奄美大島における河川底生動物の餌料源解析 *高橋 真司 1、阿部 信一郎 2、竹門 康弘 3、井口 恵一朗 4 1.東北大学, 2.茨城大学, 3.京都大学, 4.長崎大学
16:15	O-J-12	野鳥川に現存する歴史的空石積み護床工の有する水生生物の生息場としての環境機能 *林 博徳 1、児嶋 力也 2、外山 英志郎 1、島谷 幸宏 3 1.九州大学, 2.福岡市役所, 3.熊本県立大学
セッション K 都市環境		
13:30	O-K-01	機械学習を応用した緑地環境によるゼロ次予防推進のための疫学研究プロジェクト【第2報】 *大塚 芳嵩 1, 2, 3、今西 純一 1, 2、那須 守 4、岩崎 寛 3 1.大阪公立大学大学院農学研究科, 2.大阪国際感染症研究センター, 3.千葉大学大学院園芸学研究院, 4.室蘭工業大学大学院工学研究科
13:45	O-K-02	都市のエコロジカルネットワークにおける街路樹の機能に関する研究 —北九州市小倉北区を対象として— *谷尾 道希 1、須藤 朋美 2、長谷川 逸人 1、伊東 啓太郎 2 1.九州工業大学大学院工学府, 2.九州工業大学大学院工学府工学研究員
14:00	O-K-03	地上レーザーと深層学習による壁面緑化植物の葉面積測定 *加藤 顕 1、山口 洵 2、彦坂 晶子 1、栗木 茂 3、大島 佳保里 3、上柳 燎平 3、浅野 涼太 3 1.千葉大学 大学院園芸学研究院, 2.千葉大学 園芸学部, 3.戸田建設株式会社技術研究所

セッション L 道路		
14:15	O-L-01	都市交通計画から考える都市緑化の可能性:明日への布石 *石松 一仁 1 1.明石工業高等専門学校 都市システム工学科
14:30	O-L-02	植物根系が層構造を有する土供試体のせん断強度特性に与える影響 *三浦 直己 1、中村 大 1、川口 貴之 1、宗岡 寿美 2、川尻 峻三 1 1.北見工業大学, 2.帯広畜産大学
14:45	O-L-03	沖縄島中南部における道路街路樹 3 樹種に発生した胴吹きとひこばえの実態調査 *谷口 真吾 1、田場 睦規 1、2、松本 一穂 1 1.琉球大学農学部, 2.大和ハウス工業株式会社
15:00	O-L-04	クサヨシ( <i>Phalaris arundinacea</i> L.)を利用した植生工の雨滴に対する侵食防止効果の評価 *五郎部 生成 1、中村 大 1、川尻 峻三 1、川口 貴之 1、宗岡 寿美 2、菖蒲 哲也 3 1.北見工業大学, 2.帯広畜産大学, 3.アヤマ緑化工業
セッション M その他		
15:15	O-M-01	子どもの動植物に対する興味に着目した小学校ビオトープの活用方法の提案 *星野 愛結 2、伊東 啓太郎 1、須藤 朋美 1、長谷川 逸人 2、松村 竜也 2、谷尾 道希 2 1.九州工業大学大学院工学研究院, 2.九州工業大学大学院工学府
15:30	O-M-02	河川流域の歴史的景観を復元する研究手法 -16 世紀後半筑後川下流の城館から①- *中西 義昌 1 1.北九州市立自然史・歴史博物館
15:45	O-M-03	インドネシア・バリ島の伝統的「外庭」の社会・生態的機能評価 *加藤 禎久 1、菱山 宏輔 2、Agung Darmadi 3 1.公立鳥取環境大学, 2.専修大学, 3.ウダヤナ大学
16:00	O-M-04	物理環境条件に基づく国立公園の特徴把握 *伊勢 紀 1、2、鎌田 磨人 3 1.徳島大学先端技術科学教育部, 2.Pacific Spatial Solutions 株式会社, 3.徳島大学大学院社会産業理工学研究部
16:15	O-M-05	瀬戸内海の島々の植生景観を決定づける自然・社会条件 *森定 伸 1、伊勢 紀 1、鎌田 磨人 2 1.徳島大学大学院先端技術科学教育部, 2.徳島大学社会産業理工学研究部

## 口頭発表 9月23日(金)

## セッション N 生息場・生息地評価

09:00	O-N-01	遠州灘海岸における海浜性植物の生育要因:生育基盤要因と攪乱要因に着目して *萱場 祐一 2、大西 望夏 1 1.五洋建設株式会社, 2.名古屋工業大学
09:15	O-N-02	ダム湖における魚類行動の可視化 *長岡 祥平 1、南 憲吏 2、稲川 崇史 3、坂本 正吾 3、沖津 二郎 3、白川 北斗 4、大杉 奉功 5、東 信行 6、黒田 充樹 1、上田 健太 1、中森 陸 1、朱 妍卉 1、佐藤 信彦 2、宮下 和士 2 1.北海道大学大学院 環境科学院 生物圏科学専攻, 2.北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 生態系変動解析分野, 3.応用地質株式会社 地球環境事業部 応用生態工学研究所, 4.国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター, 5.一般財団法人 水源地環境センター, 6.弘前大学 農学生命科学部
09:30	O-N-03	田植え時期と輪作の有無が田面水中の水生動物群集に及ぼす影響 *安野 翔 1 1.埼玉県環境科学国際センター
09:45	O-N-04	北海道大黒島で繁殖するウトウを対象とした洋上風力発電センシティブティマップの開発 *河口 洋一 1、佐藤 雄大 1、藪原 佑樹 1、大門 純平 2、綿貫 豊 2 1.徳島大学大学院社会産業理工学研究部, 2.北海道大学大学院水産科学研究院
10:00	O-N-05	河床耕耘によるアユ生息場の改善効果の検証 *内田 朝子 1、間野 静雄 2 1.豊田市矢作川研究所, 2.川の研究室
10:15	O-N-06	ワカサギの生息適水温域に着目した北浦の水温観測データの可視化について *八丈 裕己 1、金山 明広 1 1.独立行政法人水資源機構
10:30	O-N-07	自律航行ボートを用いた湖底環境マッピングシステムの開発 *相田 拓郎 1、山田 浩之 2、尾山 洋一 3 1.北海道大学大学院農学院, 2.北海道大学大学院農学研究院, 3.釧路市教育委員会マリモ研究室
10:45	O-N-08	宇治川における止水性生息場の保全創出のための河道地形評価 *竹門 康弘 1、Wang Jue、角 哲也 1 1.京都大学防災研究所水資源環境研究センター
11:00	O-N-09	由良川における河川整備によるリスクの変遷と洪水時の堤内地を含めた退避場所 *関 圭祥 1、田中 耕司 2 1.大阪工業大学大学院, 2.大阪工業大学

セッション O モニタリング		
11:15	O-O-01	VRカメラを用いた水圏生態系モニタリングシステムの開発 *奈良 竜征 1、山田 浩之 2、尾山 洋一 3 1.北海道大学大学院農学院, 2.北海道大学大学院農学研究院, 3.釧路市教育委員会マリモ研究室
11:30	O-O-02	衛星リモートセンシングによる広域的な植生の連結性評価 *平山 英毅 1, 2、原 慶太郎 1 1.東京情報大学総合情報学部, 2.千葉大学環境リモートセンシング研究センター
11:45	O-O-03	稲城南山東部土地区画整理事業におけるオオタカ保全措置について *板谷 浩男 1、古松 正博 1、鬼久保 浩正 1、伊藤 彰朗 2、山崎 俊浩 3 1.パシフィックコンサルタンツ株式会社, 2.株式会社緑生研究所, 3.南山東部土地区画整理組合
12:00	O-O-04	空中・水上両用ドローンを用いた簡易的な河床材料調査手法に関する検討 *大中 臨 1、赤松 良久 1、宮園 誠二 1、丸山 啓太 1、坂本 佑太 2 1.山口大学大学院創成科学研究科, 2.山口大学社会建設工学科
12:15	O-O-05	森林火災後の下層植生回復 *村上 萌 1、加藤 顕 2、蝦名 益仁 3, 1 1.北海道大学大学院環境科学院, 2.千葉大学大学院園芸学研究院, 3.北海道立総合研究機構林業試験場
セッション P 植物・植生		
09:00	O-P-01	空間解像度の異なる二年代の植生図を用いた植生・土地利用変化の把握手法の検討 *小川 みどり 1、鎌田 磨人 2 1.徳島大学大学院先端技術科学教育部, 2.徳島大学大学院社会産業理工学研究部
09:15	O-P-02	タシロランの保全対策としての播種の有効性の検討 *與那城 千恵 1、松井 敏彦 1、重吉 実和 1、谷浦 拓馬 1、山内 寛 1、芦野 洗介 1、遊川 知久 2 1.中央復建コンサルタンツ株式会社, 2.国立科学博物館 筑波実験植物園
09:30	O-P-03	都市における自然再生の評価とマネジメント手法の提案 *馬庭 彪悟 1、須藤 朋美 2、伊東 啓太郎 2 1.九州工業大学大学院工学府, 2.九州工業大学大学院工学研究院
09:45	O-P-04	Comparison between the Responses of Myriophyllum Roraima and Egeria Densa to Microplastics Exposure *劉 劍至 1、SENAVIRATHNA M.D.H.J.1、藤野 毅 1 1.埼玉大学

10:00	O-P-05	アズマネザサの刈り取りがムラサキシキブ属 2種の種子発芽および初期成長に及ぼす影響 *中島 宏昭 1, 3、森山 蒼大 2、田中 聡 3、鈴木 貢次郎 3 1.下田市役所, 2.株式会社ダイアックス, 3.東京農業大学地域環境科学部
10:15	O-P-06	航空レーザ測量データによるタケの稈長の推定 *手塚 透吾 1、溝口 裕太 1、篠原 隆佑 1、崎谷 和貴 1、斉藤 展弘 2 1.国立研究開発法人土木研究所, 2.国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所
10:30	O-P-07	石垣島耕地防風林の50年間の管理施業による林分構造変遷と多面的利用の可能性 *竹中 浩一 1 1.国際農林水産業研究センター農村開発領域
10:45	O-P-08	剣山系尾根上の草原に侵入したウラジロモミの成長とシカ食害の状況把握 *戴 帰航 1、小川 みどり 1、丹羽 英之 2、鎌田 磨人 3 1.徳島大学大学院先端技術科学教育部, 2.京都先端科学技術大学バイオ環境学部, 3.徳島大学大学院社会産業理工学研究部
11:00	O-P-09	小田貫湿原のノハナショウブ開花数の変化に及ぼす人為的介入の影響 *中込 光穂 1 1.静岡大学総合科学技術大学
11:15	O-P-10	津波攪乱跡地における人為改変度に着目した植物の種多様性と植生指数の8年間の変化 *田畠 斗夢 1、富田 瑞樹 2、菅野 洋 5、平山 英毅 2, 3、平吹 喜彦 4、原 慶太郎 2 1.東京情報大学大学院, 2.東京情報大学, 3.千葉大学環境リモートセンシング研究センター, 4.東北学院大学, 5.東北緑化環境保全株式会社
セッション Q 水質		
11:30	O-Q-01	Effects of Light Intensity on the Vertical Distribution of <i>Microcystis aeruginosa</i> Colonies *晏 宏宇 1、SENAVIRATHNA M.D.H.J.1、藤野 毅 1 1.埼玉大学
11:45	O-Q-02	Effect of different light and temperature combinations on <i>Microcystis aeruginosa</i> *Jayasanka Senavirathna1、Aihemaiti Bahaguri1 1.埼玉大学理工学研究科

セッション R ダム		
12:00	O-R-01	流水型ダム貯水池に残置された巨石が地形多様化に与える効果 *中村 亮太 1、竹門 康弘 1、角 哲也 1 1.京都大学
12:15	O-R-02	ダム下流における石礫の露出高及びコケ植物の被度がアユの採餌場所利用に及ぼす影響 *小野田 幸生 1、兼頭 淳 2、中村 圭吾 3 1.土木研究所(現 豊田市矢作川研究所), 2.株式会社建設技術研究所, 3.土木研究所(現 公益財団法人 リバーフロント研究所)
セッション S 動物		
09:00	O-S-01	長良川流域におけるアユの時空間動態～成長期から産卵期の分布を決める水文トリガー～ *永山 滋也 1、原田 守啓 1、藤井 亮吏 2、末吉 正尚 3 1.岐阜大学, 2.岐阜県水産研究所, 3.国立環境研究所
09:15	O-S-02	砂防事業におけるニホンリスの環境保全措置及び工事中モニタリング調査の事例 *小田 優佳 1、増永 功 1、浮田 健一 1、安東 新吾 1 1.株式会社荒谷建設コンサルタント
09:30	O-S-03	徳島県那賀川流域のダム湖におけるコウモリ類の採餌活動 *佐藤 雄大 1、中西 真 1、赤坂 卓美 2、河口 洋一 1 1.徳島大学, 2.帯広畜産大学
09:45	O-S-04	氾濫原の景観変化が砂礫性オサムシ類と水生昆虫との関係性に与える影響 *玉田 祐介 1, 2 1.株式会社長大, 2.帯広畜産大学
10:00	O-S-05	レーザー計測システムを用いた猛禽類の飛翔高度の検証 *山川 将径 1、前 正人 1、片桐 寿通 1、田屋 祐樹 1、加茂川 千枝 1、上野 裕介 2 1.株式会社 国土開発センター, 2.石川県立大学
10:15	O-S-06	環境 DNA 定量メタバーコーディング法を用いた河川魚類の移入・絶滅プロセスの検討 *宮園 誠二 1、宮平 秀明 1、花岡 拓身 1、赤松 良久 1、中尾 遼平 1 1.山口大学大学院創成科学研究科

## ポスター発表 9月22日(木)

緑化
<p>令和2年7月豪雨に伴う林道切取法面の崩壊とその発生要因</p> <p>*寺本 行芳 1、下川 悦郎 2、江崎 次夫 3、土居 幹治 4、松本 淳一 4</p> <p>1.鹿児島大学農学部, 2.鹿児島大学名誉教授, 3.愛媛大学名誉教授, 4.マルトモ株式会社</p>
<p>火山性荒廃斜面における三日月形治山緑化資材の2年間の植生回復と表面侵食</p> <p>*小川 泰浩 1、上條 隆志 2、欒 春陽 3、武藤 恵 4</p> <p>1.国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所, 2.筑波大学生命環境系, 3.筑波大学生命環境科学研究科, 4.筑波大学理工情報生命学術院</p>
<p>視点場から撮影した動画とVRを用いた緑地景観の印象評価-光環境の違いに着目して-</p> <p>*平井 茜 1、杉浦 徳利 2、上町 あずさ 2</p> <p>1.武庫川女子大学大学院建築学研究科(現:株式会社銭高組), 2.武庫川女子大学建築学部景観建築学科</p>
<p>間伐による伐採後5年経過したスギ・ヒノキ水平根のRBMwパラメータの推定と補強強度推定への適用</p> <p>*島田 博匡 1</p> <p>1.三重県林業研究所</p>
<p>客土と耕起が草原生植物の初期定着に及ぼす効果の検証</p> <p>*相澤 章仁 1、寺井 学 1</p> <p>1.株式会社大林組</p>
<p>自由学園における分収造林制度を利用した学校林の展開と新しい地域連携モデルへの移行</p> <p>*吉川 慎平 1</p> <p>1.自由学園 環境文化創造センター</p>
<p>胆沢ダム建設で生じた原石山跡地の植生回復</p> <p>*瀧口 俊 1、藤田 大知 1、浅見 和弘 1</p> <p>1.応用地質株式会社</p>
<p>ススキ(Miscanthus sinensis Andersson)の地域性種苗を使用した斜面緑化における緑化資材の検討</p> <p>*古野 正章 1、保浦 成徳 2、鶴田 徹 2、服部 浩崇 2、田中 淳 3、吉原 敬嗣 4、内田 泰三 5</p> <p>1.九州産業大学大学院工学研究科, 2.前田工織株式会社, 3.国土防災技術株式会社, 4.紅大貿易株式会社, 5.九州産業大学建築都市工学部</p>
<p>緑化土壌を対象としたバイオ炭混合による保水効果の検証</p> <p>*松岡 達也 1、平野 堯将 1、渡部 陽介 1、黒岩 洋一 1、小島 啓輔 1、隅倉 光博 1</p> <p>1.清水建設(株)技術研究所</p>
<p>海岸林のギャップに植栽されたクロマツの成長と光環境の関係</p> <p>*山佐 圭吾 1、岡 浩平 1、吉崎 真司 2</p> <p>1.広島工業大学 環境学部, 2.東京都市大学 環境学部 名誉教授</p>

<p>ネパール国カブレ郡での地域連携による森づくりの実践と今後の課題・展望</p> <p>*小田 幸子 1</p> <p>1.自由学園 環境文化創造センター</p>
<p>北海道における地被植物(ミント類)を導入した畦畔景観の維持管理に対する農家の意識変化</p> <p>*上杉 鮎香 1、松島 肇 2、森本 公美子 3</p> <p>1.北海道大学農学部, 2.北海道大学大学院農学研究院, 3.名古屋市</p>
<p>地域性系統のススキ (<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson) を用いた斜面崩壊地の緑化事例</p> <p>*古野 正章 1、内田 泰三 2、伊津見 和広 3、田中 淳 4</p> <p>1.九州産業大学大学院工学研究科, 2.九州産業大学建築都市工学部, 3.株式会社ツチヤ工業, 4.国土防災技術株式会社</p>
<p>鉄筋枠構造体と木本樹木根系の「グリップ効果」による盛土法先崩壊抑止対策(その1)</p> <p>ー大型木枠土槽による屋外観察試験(地盤&amp;土槽の変状)ー</p> <p>*杉山 太宏 1、山形 隆三 2、西野 文貴 3、武井 理臣 3、伊藤 美咲 1</p> <p>1.東海大学, 2.山形開発工業株式会社, 3.株式会社グリーンエルム・東京農業大学</p>
<p>鉄筋枠構造体と木本樹木根系の「グリップ効果」による盛土法先崩壊抑止対策(その2)</p> <p>ー大型木枠土槽による屋外観察試験(植栽したポット苗の根系伸長)ー</p> <p>*西野 文貴 1、2、山形 隆三 3、杉山 太宏 4、武井 理臣 1、2、伊藤 美咲 4</p> <p>1.株式会社グリーンエルム, 2.東京農業大学, 3.山形開発工業株式会社, 4.東海大学</p>
<p>貯蔵条件の違いによるイロハモミジとクリーピングレッドフェスク 種子の含水率と発芽率推移の比較</p> <p>*小野 幸菜 1、吉田 寛 1</p> <p>1.東興ジオテック株式会社</p>
<p>阿蘇地域におけるススキ (<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson) 種子の 採取時期と温度条件による発芽率の違い</p> <p>*森 優芽 1、小澤 怜奈 1、中村 華子 2、橘 隆一 1、福永 健司 1</p> <p>1.東京農業大学地域環境科学部, 2.緑化エラボ</p>
<p><i>Solanum incanum</i> 及び <i>S.somalense</i> の土壌改良資材としての有用性</p> <p>*加藤 康太 1</p> <p>1.東京農業大学大学院 地域環境科学研究科 林学専攻</p>
<p>オフィスの植栽を利用した園芸活動による就業者のワークエンゲージメント およびウェルビーイング・社会的健康の改善に関する検証</p> <p>*小島 倫直 1、花里 真道 2、岩崎 寛 2</p> <p>1.株式会社竹中工務店, 2.国立大学法人千葉大学</p>
<p>底面給水による育苗がスギコンテナ苗の成長と根鉢形成に及ぼす影響</p> <p>*近藤 晃 1</p> <p>1.静岡県立農林環境専門職大学短期大学部</p>
<p>Street tree composition and diversity in urban area of Kyoto City</p> <p>*譚 瀟洋 1、康 傑鋒 2、柴田 昌三 2</p> <p>1.公益財団法人 地球環境戦略研究機関 IGES, 2.京都大学大学院 地球環境学堂</p>

<p>海岸埋立地の植栽林の萌芽更新におけるいくつかの樹種の萌芽枝生育量の比較</p> <p>*広永 勇三 1</p> <p>1.元千葉大学園芸学研究科</p>
<p>土の締固め度と土壌硬度ならびに草本根系伸長に関する基礎実験(その2)</p> <p>*伊藤 美咲 1、杉山 太宏 1、池谷 真希 1</p> <p>1.東海大学</p>

<p><b>都市環境</b></p>
<p>都市河川の魚類群集構造と環境要因に関する基礎的知見</p> <p>*丸岡 慶祐 1、巖島 怜 1、木内 豪 1</p> <p>1.東京工業大学</p>
<p>都市緑化樹木の樹冠の高さ毎の蒸散量の差異の検討</p> <p>*手代木 純 1、石田 泰之 2、持田 灯 2</p> <p>1.公益財団法人 都市緑化機構, 2.東北大学</p>
<p>野生植物の生育地としての街路樹空間に関する研究 —函館市の木本植物・つる性植物の調査から</p> <p>*村上 健太郎 1、雲山 一葉 2、粕加屋 風汰 3</p> <p>1.北海道教育大学(函館校)教育学部, 2.北海道庁, 3.北上市役所</p>
<p>水辺ビオトープにおける物理的環境操作による蚊の発生抑制の検討</p> <p>*福丸 拳梧 1、大澤 啓志 2</p> <p>1.株式会社シー・アイ・シー, 2.日本大学生物資源科学部</p>
<p>草原周辺の宅地率の違いは送粉相互作用関係を変化させるか?</p> <p>*辻本 翔平 1、野田 顕 2、西廣 淳 1</p> <p>1.国立環境研究所, 2.東邦大学</p>

植物・植生
<p>UAVを用いた津波攪乱跡地と盛土上に生育するクロマツの樹高推定</p> <p>*大垣 岳斗 1、富田 瑞樹 2、平山 英毅 2、3、平吹 喜彦 4</p> <p>1.東京情報大学大学院, 2.東京情報大学, 3.千葉大学環境リモートセンシング研究センター, 4.東北学院大学</p>
<p>北海道空知地方におけるずり山の植物種の多様性—局所スケール要因に着目して—</p> <p>*河合 仁美 1、森本 淳子 1、酒井 裕司 2、3、中村 太士 1</p> <p>1.北海道大学農学院, 2.イメージランドスケーププランニング, 3.NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団</p>
<p>地熱発電所冷却塔からの排出蒸気に含まれる硫化水素ガスによる植物影響に関する一考察 ～火山ガス噴気孔周辺でのブナの観察実験～</p> <p>*木村 啓 1、菅野 洋 1、平山 英毅 2、富田 瑞樹 2、富田 尚樹 1、岡田 真秀 1</p> <p>1.東北緑化環境保全株式会社, 2.東京情報大学</p>
<p>Evaluation of a new Index calculated based on NDVI images to compare individual plant health of a riparian vegetation</p> <p>*ZUMULATI MAIMAITI1、Jayasanka Senavirathna1</p> <p>1.埼玉大学理工学研究科</p>
<p>異なる温度条件下におけるシダ植物の孢子発芽と前葉体成長</p> <p>—実用化に向けての取り組みと現状について—</p> <p>*武井 理臣 1、2、西野 文貴 1、2、高野 公志、清澤 賢司 1、橋 隆一 2、福永 健司 2</p> <p>1.株式会社グリーンエルム, 2.東京農業大学</p>
<p>葉形質から説明される湿地生植物の生態学的特性</p> <p>*原田 竜輔 1、比嘉 基紀 2</p> <p>1.高知大学大学院総合人間自然科学研究科, 2.高知大学理工学部</p>
<p>小型 UAV を活用した津波被災地における海浜植物ケカモノハシ の空間分布の評価</p> <p>*栗栖 寛和 1、岡 浩平 1、平吹 喜彦 2、松島 肇 3</p> <p>1.広島工業大学環境学部, 2.東北学院大学教養学部, 3.北海道大学大学院農学研究院</p>
<p>自然災害による一時的な塩分汚染がチカラシバおよびススキの発芽に及ぼす影響</p> <p>*亀井 碧 1、中島 敦司 2</p> <p>1.和歌山大学大学院システム工学研究科, 2.和歌山大学システム工学部</p>
<p>両性花序をもち種子生産するジャヤナギに似たヤナギ属個体のアポミクシス性の検討</p> <p>*中村 彰宏 1、伊藤 由希 1、竹谷 祐介 1、名波 哲 1</p> <p>1.大阪公立大学</p>
<p>芹川堤防上に生育するケヤキ古木の根系発達状況の把握について</p> <p>*森岡 千恵 1、塩見 真矢 1、多田 亨 2</p> <p>1.日本工営(株), 2.(有)緑汎</p>
<p>大山隠岐国立公園鏡ヶ成草原における火入れによる植生管理</p> <p>*日置 佳之 1、谷本 百望 2、藤本 有咲 3、本部 星 4、猪山 裕之 1</p> <p>1.鳥取大学, 2.西武造園(株), 3.内山緑地建設(株), 4.アジア航測(株)</p>

<p>UAV 画像を対象とした CNN と FCM によるスズランの花領域検出法の開発</p> <p>*白井 光 1、景山 陽一 1、長本 大介 2、野口 智史 2、竹門 玄地 2、西村 唯 2、小嶋 照男 3、秋沢 成江 3</p> <p>1.秋田大学, 2.建設環境研究所, 3.エコテック地域環境センター</p>
<p>ニホンジカの分布拡大シミュレーションと植生被害度の空間分布</p> <p>*比嘉 基紀 1</p> <p>1.高知大・理工</p>
<p>メッシュシートの日合いの大きさとオオイタドリ (<i>Fallopia sachalinensis</i> (F. Schmidt) Ronse Decr.) の生育抑制</p> <p>*佐藤 厚子 1、林 宏親 1</p> <p>1.寒地土木研究所</p>
<p>皆伐更新地の植生管理が開花フェノロジーと訪花昆虫に与える影響</p> <p>*赤尾 智宏 1、倉本 宣 2</p> <p>1.明治大学大学院農学研究科, 2.明治大学農学部</p>
<p>ナラ枯れ被害木の伐採・搬出による近接木の被害遅延の可能性</p> <p>*松本 薫 1</p> <p>1.埼玉森林インストラクター会</p>
<p>非高木種ヒサカキとヤブツバキの根系構造と土壌硬度</p> <p>*山瀬 敬太郎 1、今若 舞 2、大橋 瑞江 2、池野 英利 3、藤堂 千景 1、伊東 康人 1、檀浦 正子 4、谷川 東子 5、平野 恭弘 5</p> <p>1.兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター, 2.兵庫県立大学, 3.福知山公立大学, 4.京都大学, 5.名古屋大学</p>
<p>関東地方南部の小規模なオープンスペースにおける風散布種子の時間的・空間的分布</p> <p>*片山 暖那 1、倉本 宣 1</p> <p>1.明治大学</p>
<p>仙台湾沿岸における津波による低頻度大規模攪乱後 10 生育期目の植生回復と人為影響</p> <p>*菅野 洋 1、富田 瑞樹 2、平吹 喜彦 3、原 慶太郎 2</p> <p>1.東北緑化環境保全(株), 2.東京情報大学総合情報学部, 3.東北学院大学教養学部</p>
<p>大規模湿性草地のモニタリング～植生区分に UAV 画像から得られる植生指数は使えるか？～</p> <p>*香川 裕之 1、菅野 洋 1、佐藤 翔 1、吉田 奏映 1、山下 雅成 1、太刀川 晴之 2</p> <p>1.東北緑化環境保全株式会社, 2.前 環境省 八戸自然保護官事務所</p>
<p>河川水辺の国勢調査を用いた水生植物の出現傾向</p> <p>*槐 ちがや 1、崎谷 和貴 1</p> <p>1.土木研究所流域水環境グループ流域生態チーム</p>
<p>ネナシカズラ属 (<i>Cuscuta</i>) によるクズの生物的防除</p> <p>*内田 泰三 1、東元 太誠 1、青木 颯 1、柴田 仁 1、早坂 大亮 2</p> <p>1.九州産業大学建築都市工学部, 2.近畿大学農学部</p>

刈取り時期と刈取り高の違いがイタドリ( <i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i> )の成長に及ぼす影響 横山 裕一 1、*稲垣 栄洋 1 1.静岡大学
刈取りがイタドリ( <i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i> )の生産構造に及ぼす影響 横山 裕一 1、*稲垣 栄洋 1 1.静岡大学
医療薬草園と農作物園を核とした障害者の活動空間に関するデザインの考察 *馬 丁 1 1.筑波大学
木曾岬干拓地における樹木の分布拡大過程 *橋本 啓史 1、中林 雪乃 1 1.名城大学農学部
茅葺き民家を構成する植物素材の分布と土地利用の変遷—山に近い八重地集落の暮らしに着目して— *吉武 佳穂 1、藤原 道郎 1 1.兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/淡路景観園芸学校
NDVI 画像による実験室培養 <i>Microcystis aeruginosa</i> の 光・温度条件下での生理反応評価への応用 *MUNILA AJI1、Senavirathna M. D. H. J.1 1.埼玉大学理工学研究科
仙台市沿岸部の砂浜域における津波後 10 年間の植物群集の変化 *富田 瑞樹 1、菅野 洋 2、平吹 喜彦 3、原 慶太郎 1 1.東京情報大学, 2.東北緑化環境保全株式会社, 3.東北学院大学

動物
<p>景観の変化が湧水湿地を利用する哺乳類にもたらす影響</p> <p>*徐 云竜 1、佐伯 いく代 2</p> <p>1.筑波大学 生命環境学群 生物資源学類, 2.筑波大学 生命環境系</p>
<p>佐渡島の止水域における水生昆虫群集の特性</p> <p>*松村 拓樹 1、岸本 圭子 2</p> <p>1.新潟大学自然科学研究科, 2.龍谷大学先端理工学部</p>
<p>樹上性カエルの上陸個体数に影響する環境要因:水田景観と気候が異なる地域間の比較</p> <p>*松島 野枝 1、長谷川 雅美 1、西廣 淳 2</p> <p>1.東邦大学理学部, 2.国立環境研究所</p>
<p>人工構造物を巧みに利用する溪流性哺乳類カワネズミ</p> <p>*元木 達也 1、濱田 竜輔 1</p> <p>1.株式会社環境アセスメントセンター</p>
<p>ニホンリスの生息地としてのスギ人工林の評価:庄内地方における事例</p> <p>*本田 鈴香 1、斎藤 昌幸 1</p> <p>1.山形大学大学院農学研究科</p>
<p>育雛期におけるフクロウ(<i>Strix uralensis</i>)の給餌組成の日周変化</p> <p>*鈴木 悠介 1</p> <p>1.宇都宮大学地域創生科学研究科</p>
<p>中型哺乳類は積雪に覆われても林道を歩きたい</p> <p>*鈴木 美緒 1、渡部 凌我 1、斎藤 昌幸 1</p> <p>1.山形大学大学院</p>
<p>佐渡島におけるヘビ類の分布様式</p> <p>*澤田 聖人 1、渡部 侑果 4、小林 幸平 5、阿部 晴恵 3、上條 隆志 2</p> <p>1.筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群, 2.筑波大学 生命環境系, 3.新潟大学 佐渡自然共生科学センター, 4.新潟大学大学院 自然科学研究科 環境科学専攻, 5.新潟大学 農学部 フィールド科学人材育成プログラム</p>

外来種
<p>矢作川水系および猿投山周辺の丘陵地におけるエビ類 調査計画</p> <p>*櫻井 郁也 1、内田 臣一 1</p> <p>1.愛知工業大学</p>
<p>イノシシのタケノコ摂食の有無によるモウソウチク林の新稈数の違い</p> <p>*藤原 道郎 1</p> <p>1.兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科／淡路景観園芸学校</p>
<p>岡山県旭川水系における外来バラタナゴ属魚類の産卵母貝利用</p> <p>*住田 崇成 1、谷口 倫太郎 1、勝原 光希 2、中田 和義 2</p> <p>1.岡山大学大学院 環境生命科学研究科, 2.岡山大学学術研究院 環境生命科学学域</p>
<p>侵略的外来植物ギンネムの効果的・効率的な駆除手法</p> <p>*徳丸 慶太郎 1、大嶺 匡史 1、増田 毅 2</p> <p>1.株式会社南西環境研究所, 2.丸和バイオケミカル株式会社</p>
<p>外来魚の上流域への急拡大に伴う石狩川河跡湖群における魚類多様性構造の変化</p> <p>*戴 秉国 1、根岸 淳二郎 2、Jiang Zhongguan<sup>3</sup></p> <p>1.北海道大学大学院環境科学院, 2.北海道大学大学院地球環境科学研究院, 3.ドイツ統合生物多様性研究センター</p>
<p>無農薬水田土壌に侵入した外来植物ヒメホテイアオイの生長を制御 する灌漑形態と土壌栄養分の影響</p> <p>*タパ マガラ シラザナ 1、タン ココハン 1、藤野 毅 1</p> <p>1.埼玉大学理工学研究科</p>
<p>環境 DNA を用いた櫛田川におけるコクチバスの流れ分布の把握</p> <p>*松澤 優樹 1、森 照貴 1</p> <p>1.国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター</p>

保全生態
分布北限域に生育するヒメノボタンの種子発芽および休眠特性 *高岸 慧 1、森山 実央子 1、宮本 太 1 1.東京農業大学大学院農学研究科
機械学習を用いた氾濫原生魚類の適地推定 — 琵琶湖流域を対象として *山村 孝輝 1、瀧 健太郎 1、水野 敏明 2、酒井 陽一郎 2、川瀬 成吾 3、中尾 博行 4 1.滋賀県立大学 環境科学部, 2.滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 総合解析部門, 3.滋賀県立琵琶湖博物館, 4.うおの会
河川と農業用水路の淡水魚類群集を対象とした潜在的な生息マップ *森 照貴 1、末吉 正尚 1, 2、米倉 竜次 3、石山 信雄 4、永山 滋也 5、中川 光 1 1.土木研究所自然共生研究センター, 2.国立環境研究所生物多様性領域, 3.岐阜県水産研究所, 4.北海道立総合研究機構林業試験場, 5.岐阜大学地域環境変動適応研究センター
コウノトリビオトープの2タイプの既設水田魚道の遡上比較と改良土嚢魚道の効果 *立川 裕章 1、田井 魁斗 1、中尾 祐太 1、吉田 樹一 1、佐川 志朗 1, 2 1.兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 2.兵庫県立コウノトリの郷公園
多摩丘陵の里山を残した公園における畦畔草地の保全 *紀 正 1、倉本 宣 2 1.明治大学農学研究科, 2.明治大学農学部
岡山県真庭市の津黒高原湿原における水生昆虫類の生息環境改善計画 *日笠 祐甫 1、日置 佳之 1 1.鳥取大学生態工学研究室
自然保護区での設置規制が太陽パネル開発に与える影響 *真野 文瑠 1、中島 敦司 2 1.和歌山大学大学院システム工学研究科, 2.和歌山大学システム工学部
湿地の復元活動が生物文化多様性の保全に与える効果:東海地方の湧水湿地を事例として *佐伯 いく代 1、李 雅諾 2 1.筑波大学生命環境系, 2.筑波大学大学院人間総合科学研究科
山地河川および平地河川のコンクリート河床に成立する底生動物群集 *太田 克哉 1、三宅 洋 1 1.愛媛大学
余市岳におけるエゾコザクラの葉緑体ゲノムの遺伝変異とその形態特性 *原 悠里 1、我妻 尚弘 1、岡本 吉弘 1、森 志郎 1 1.酪農学園大学大学院
岡山県南部の農業水路におけるタナゴ類4種の選好環境 *沖 千晶 1、齋藤 稔 2、勝原 光希 3、中田 和義 3 1.岡山大学大学院環境生命科学研究科, 2.国立研究開発法人国際農林水産業研究センター, 3.岡山大学学術研究院環境生命科学学域

<p>数種類のバットディテクターによる集音可能距離の比較</p> <p>*山田 芳樹 1、高橋 希 2、赤坂 卓美 2、鈴木 祐太郎 1</p> <p>1.株式会社ドーコン 環境事業本部 環境保全部, 2.帯広畜産大学 環境生態学分野 保全生態学研究室</p>
<p>黒川遊水地群の生物相と生物多様性を支える維持管理法に関する考察</p> <p>*山中 綾乃 1、皆川 朋子 1</p> <p>1.熊本大学</p>
<p>Pfankuch 法の導入による河床安定性が底生動物群集に及ぼす影響の広域的把握</p> <p>*岩見 明輝 1、太田 克哉 1、三宅 洋 1</p> <p>1.愛媛大学大学院理工学研究科</p>
<p>Habitat contribution of the hyporheic zone to the total diversity of macroinvertebrates in rivers of Hokkaido, Japan</p> <p>*ALAM MD KHORSHEID1、Negishi Junjiro N.2</p> <p>1.Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, 2.Faculty of Environmental Earth Science, Hokkaido University</p>

グリーンインフラ
木質バイオマス発電と組み合わせた水害防備林の持続可能な維持管理に向けた検討 *村松 輝哉 1、大槻 順朗 2 1.山梨大学工学部, 2.山梨大学大学院総合研究部
日本国内における田んぼダムの地理的な分布状況 *庄山 紀久子 1、大野 智彦 2 1.茨城大学, 2.金沢大学
応用地生態学的手法を用いた景観評価方法の提案 *下河 敏彦 1、谷川 俊治 1、鶴沢 貴文 1、稲垣 秀輝 1、小坂 英輝 1、柚原 隆英 1、生沼 洋祐 1、清水 勇介 1、荒館 佳子 1、高橋 ひろか 1 1.株式会社環境地質
雨庭における繰り返し湛水・乾燥条件に対する植物の適性評価 *田中 美有 1 1.千葉大学大学院
福岡県新宮町における雨庭に対する住民の意識と評価に関する研究 ～株式会社立花建設企業敷地を事例として～ *阿野 晃秀 1、田中 淑恵 3、山下 三平 2 1.京都先端科学大学, 2.九州産業大学, 3.株式会社立花建設
廃校プールにおける里山資源の活用ー浮島とキンブナによる生態系の創出ー *井本 郁子 1, 2、徳江 義宏 1, 3、水野 潤 1, 4、西谷 元則 1, 5、松原 猛 1、井上 剛 1, 6、久芳 良則 1 1.(公社)日本技術士会栃木県支部, 2.(特非)地域自然情報ネットワーク, 3.日本工営株式会社, 4.平成理研株式会社, 5.株式会社 水環境プランニング, 6.株式会社 エスアイエイ環境事務所
圏央道あきる野 IC ビオトープにおける継続的維持と活用の取り組み *畑川 芳弥 1、石坂 健彦 1、鈴木 弘武 2 1.(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 環境緑化部, 2.東日本高速道路株式会社 関東支社 技術企画課
谷津景観における放棄水田の湿地化による治水対策評価と対策優先順位の考え方についての検討 大槻 順朗 1、*野尻 雄介 1、西廣 淳 2、加藤 大輝 3 1.山梨大学, 2.国立環境研究所, 3.東邦大学

生息場・生息地評価
砂浜海岸の動物群集に及ぼす防潮堤の影響:仙台湾での調査を例に *内田 健太郎 1、柚原 剛 1、鈴木 碩通 1、市毛 峻太郎 1、占部 城太郎 1 1.東北大・院・生命
熊本県成道寺川におけるホタルの出現個体数の変動と河川環境の関係について *有吉 雄哉 1 1.福岡工業大学
谷あいの休耕田における植生の違いがヘイケボタルの生息密度に及ぼす影響 *小林 拓真 1 1.和歌山大学大学院システム工学研究科
土石流危険渓流におけるナガレホトケドジョウの生息淵の特性とホームレンジ ー攪乱に対する適応戦略ー *田井 魁人 1、立川 裕章 1、中尾 祐太 1、中 晶平 2、佐川 志朗 1, 3 1.兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 2.奈良県水循環・森林・景観環境部, 3.兵庫県立コウノトリの郷公園
林道脇に生じる水たまりにおけるトウホクサンショウウオの産卵利用 *笹岡 夏保 1、斎藤 昌幸 1 1.山形大学大学院
ハリヨ生息地津屋川湧水群の洪水攪乱に関する検討 *鷺見 哲也 1、吉川 慎平 2 1.大同大学, 2.自由学園
石川県におけるブナ科樹木 3 種の堅果エネルギー量から見るツキノワグマの出没 *鈴木 愛海 1 1.石川県立大学
琴似発寒川におけるサケおよびサクラマス産卵床分布の比較 *鈴木 享子 1、原田 貴之 1、有賀 望 2、吉富 友恭 1 1.東京学芸大学, 2.札幌市豊平川さけ科学館
河川-農水路ネットワークと水路内環境が氾濫原性魚類に与える影響 *末吉 正尚 1、米倉 竜次 2、森 照貴 3、石山 信雄 4、中村 圭吾 5 1.国立環境研究所生物多様性領域, 2.岐阜県水産研究所, 3.土木研究所自然共生研究センター, 4.北海道立総合研究機構林業試験場, 5.リバーフロント研究所
ダムの影響を考慮した底生動物分布モデルにおける複数の集団学習手法の検討・比較 *田中 凌央 1、糠澤 桂 2、鈴木 祥広 3 1.宮崎大学大学院工学研究科工学専攻, 2.宮崎大学准教授工学部工学科土木環境工学プログラム, 3.宮崎大学教授工学部工学科土木環境工学プログラム
甲府盆地における利水利用が小河川の魚類相に与える影響の評価 *外丸 広大 1、倉田 佳歩 2、大槻 順朗 3、中村 高志 3、八重樫 咲子 3 1.山梨大学大学院医工農学総合教育部, 2.山梨大学工学部, 3.山梨大学大学院総合研究部

<p>河跡湖の樹林化に伴うトンボ類の生息状況の変化—木曾川の笠松トンボ天国の事例—</p> <p>*東川 航 1、松澤 優樹 1</p> <p>1.(国研)土木研究所 自然共生研究センター</p>
<p>気候変動下の遺伝子流動動態予測:流域の水温異質性が支えるハナカジカ個体群の維持機構</p> <p>*中島 颯大 1, 2、鈴木 啓明 3, 4、中津川 誠 3、松尾 歩 5、廣田 峻 5、陶山 佳久 5、中村 太士 1</p> <p>1.北海道大学, 2.土木研究所, 3.室蘭工業大学, 4.道総研, 5.東北大学</p>
<p>コウノトリ育む水田における3種のカエル類の産卵場所モデルに基づく水田再生とその効果</p> <p>*中尾 祐太 1、藤田 大空 1、末本 貴大 1、松本 聖斗 1、立川 裕章 1、田井 魁人 1、吉田 樹一 1、田和 康太 2、佐川 志朗 1, 3</p> <p>1.兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 2.国立環境研究所 気候変動適応センター, 3.兵庫県立コウノトリの郷公園</p>
<p>コウノトリ育む水田における落水が水生動物に与える影響</p> <p>*吉田 樹一 1、立川 裕章 1、中尾 祐太 1、田井 魁人 1、佐川 志朗 1, 2</p> <p>1.兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 2.兵庫県立コウノトリの郷公園</p>

環境DNA
<p>湿地性希少種ヒメタイコウチ(<i>Nepa hoffmanni</i>)の奈良県内生息域における分布調査</p> <p>*牛尾 菜花 1、土居 秀幸 2、窪田 敏 3、片野 泉 4</p> <p>1.奈良女子大学理学部化学生物環境学科, 2.兵庫県立大学大学院情報科学研究科, 3.五條のヒメタイコウチを守る会, 4.奈良女子大学大学院自然科学系</p>
<p>河川水辺の国勢調査(河川版)における捕獲調査季節と確認種に関する検討</p> <p>*村岡 敬子 1、金谷 将志 2、菅野 一輝 1、篠原 隆佑 1、中島 颯大 1、崎谷 和貴 1</p> <p>1.国研 土木研究所, 2.国土交通省</p>
<p>河川水辺の国勢調査(ダム版)における捕獲調査季節と確認種に関する検討</p> <p>*村岡 敬子 1、金谷 将志 2、菅野 一輝 1、篠原 隆佑 1、中島 颯大 1、崎谷 和貴 1</p> <p>1.国研 土木研究所, 2.国土交通省</p>
<p>釜無川および塩川流域の水生昆虫を対象とした環境 DNA メタバーコーディング</p> <p>*八重樫 咲子 1、佐々木 勇人 2、野村 虹之介 2、金子 栄廣 1</p> <p>1.山梨大学院・総研部, 2.山梨大学・工</p>
<p>スイゲンゼニタナゴおよび近縁タナゴ類 3 種の環境 DNA 検出法の検討</p> <p>*大槻 華乃子 1、5、濱田 麻友子 2、小出水 規行 3、坂本 竜哉 2、中田 和義 4</p> <p>1.岡山大学大学院環境生命科学研究科, 2.岡山大学自然科学学域牛窓臨海実験所, 3.農研機構本部, 4.岡山大学学術研究院環境生命科学研究科, 5.株式会社カイハツ</p>
<p>環境 DNA 減衰過程におよぼす泥と流れの影響</p> <p>*辻 恵実 1、片野 泉 2、土居 秀幸 3</p> <p>1.奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科, 2.奈良女子大学大学院自然科学系, 3.兵庫県立大学大学院情報学研究科</p>
<p>環境 DNA 分析による野川における魚類相の比較 –整備状況の異なる区間に着目して–</p> <p>*柳川 善光 1、三雲 祥太 1、吉田 安理沙 2、鈴木 享子 3、吉富 友恭 3</p> <p>1.日立製作所, 2.東京学芸大学大学院, 3.東京学芸大学</p>
<p>野川における環境 DNA 分析を導入した魚類相調査の有用性の検討</p> <p>–採捕調査との比較から–</p> <p>*吉田 安理沙 1、鈴木 享子 2、吉富 友恭 2、柳川 善光 3</p> <p>1.東京学芸大学大学院, 2.東京学芸大学, 3.日立製作所</p>
<p>MiFish 法による環境 DNA 分析において参照配列との一致率が低い魚種・地域の特定</p> <p>*菅野 一輝 1、篠原 隆佑 1、中島 颯大 1、村岡 敬子 1、崎谷 和貴 1、金谷 将志 2</p> <p>1.土木研究所 流域水環境研究グループ 流域生態チーム, 2.国土交通省 河川環境課</p>
<p>環境 DNA とネットワーク分析によって解き明かす歴史的な都市用水網の魚類の多様性</p> <p>*江口 健斗 1、上野 裕介 1、郡司 未佳 2、今村 史子 2、乾 隆帝 3</p> <p>1.石川県立大学, 2.日本公営(株)中央研究所, 3.福岡工業大学</p>

モニタリング
<p>河川堤防植生の評価に向けたマルチスペクトルセンサの活用について</p> <p>*田崎 冬記 1、清水 一平 1、吉田 暁 1、渡邊 幸一 1</p> <p>1.(株)北開水エコンサルタント</p>
<p>iPad Pro 搭載 LiDAR により取得した点群を用いた市街地内の緑化地における毎木調査の試行</p> <p>*小宅 由似 1、重原 奈津子 2、吉岡 威 3、小田 龍聖 4</p> <p>1.香川大学創造工学部, 2.京都市環境保全活動推進協会, 3.街路樹診断協会, 4.森林総合研究所</p>
<p>ドローン空撮の適時性を活かした農業・農村環境のモニタリングの可能性</p> <p>*栗田 英治 1</p> <p>1.国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門</p>
<p>ウチョウランの移植による保全対策と 22 年後のモニタリング</p> <p>*室伏 幸一 1、遊川 知久 2、吉崎 真司 3、朝倉 俊治 1</p> <p>1.株式会社環境アセスメントセンター, 2.国立科学博物館筑波実験植物園, 3.東京都市大学環境学部名誉教授</p>
<p>河川水辺の国勢調査(河川環境基図)における衛星画像を活用した解析の可能性 ～渡良瀬川での事例を基に～</p> <p>*山口 皓平 1、徳江 義宏 2、難波 広樹 1、五十嵐 美穂 1</p> <p>1.日本工営株式会社 地球環境事業部 環境部, 2.日本工営株式会社 中央研究所 技術開発センター</p>
<p>コウモリ類の超音波音声データを用いた種同定システムの開発</p> <p>*梅本 章弘 1、亀山 剛 1、伊藤 岳 1、森岡 諒 2</p> <p>1.復建調査設計株式会社, 2.株式会社 Will Smart</p>
<p>森林での分布調査のための UAV 画像入データベースの開発</p> <p>ーブナ林での開花調査への適用ー</p> <p>*中村 彰宏 1、木田 和泉 2、木寺 由樹 3、唐木 優歌 4</p> <p>1.大阪公立大学, 2.林野庁中部森林管理局, 3.株式会社大幸造園, 4.阪神園芸株式会社</p>

河川環境
<p>ユスリカ幼虫による亜鉛イオンの取り込みと体内の亜鉛イオン動態の可視化</p> <p>*永岡 洸介 1、Shrestha Ashok Kumar1、藤野 毅 1、萩森 政頼 2</p> <p>1.埼玉大学 , 2.武庫川女子大学</p>
<p>伝統的河川工法・聖牛により創出されたワンド・低水敷タマリの環境と生物群集</p> <p>*中村 萌 1、田中 亜季 2、石田 裕子 3、竹門 康弘 4、土居 秀幸 5、片野 泉 6</p> <p>1.奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科, 2.大阪公立大学, 3.摂南大学理工学部都市環境工学科, 4.京都大学防災研究所, 5.兵庫県立大学大学院情報科学研究科, 6.奈良女子大学研究員自然科学系</p>
<p>ALB 点群データから算出される河床凹凸指標に基づくアユ好漁場の特性把握</p> <p>*小川 大介 1、堀田 大貴 1、遠藤 慎一 1、海津 利幸 2、細井 寛昭 2</p> <p>1.(株)建設技術研究所中部支社環境室, 2.(株)建設技術研究所中部支社河川部</p>
<p>平成 29 年九州北部豪雨後の中小河川における大規模な河川改修は河道や魚類相をどう変化させたのか？</p> <p>*富重 幹太 1、皆川 朋子 1</p> <p>1.熊本大学</p>
<p>愛知川におけるアユとビワマスの産卵床分布の比較</p> <p>*東 善広 1、水野 敏明 1、小倉 拓郎 2</p> <p>1.滋賀県琵琶湖環境科学研究センター, 2.筑波大学</p>
<p>荒川水系黒目川における親水利用頻度の高い場所での魚類生息状況について</p> <p>*リュウ シンイウ 1、峯岸 遼河 2、唐 奥 2、田中 あや香 2、青木 宗之 3</p> <p>1.東洋大学大学院, 2.元東洋大学理工学部, 3.東洋大学理工学部</p>
<p>球磨川における瀬淵構造の変化とアユの生息場評価</p> <p>*栢木 彩香 1、皆川 朋子 1</p> <p>1.熊本大学</p>
<p>淀川ワンド群における魚類群集と本川の侵食・堆積傾向の関係</p> <p>*神崎 裕伸 1、竹門 康弘 2</p> <p>1.公益財団法人河川財団近畿事務所, 2.京都大学</p>
<p>流域全体を俯瞰した洪水攪乱指標の提案</p> <p>*平野 和希 1、原田 守啓 2</p> <p>1.岐阜大学大学院 自然科学技術研究科, 2.岐阜大学准教授 岐阜大学流域圏科学研究センター</p>
<p>洪水流解析と連動したカワラハハコ群落の適地モデルの検討</p> <p>*泉野 珠穂 1、丹羽 英之 2、瀧 健太郎 1</p> <p>1.滋賀県立大学大学院 環境科学研究科, 2.京都先端科学大学 バイオ環境学部</p>
<p>自然堤防帯河道内氾濫原における細粒土砂堆積予測モデルの検証</p> <p>*戸崎 大介 1、原田 守啓 2</p> <p>1.岐阜大学大学院 自然科学技術研究科, 2.岐阜大学准教授 流域圏科学研究センター</p>

<p>アユの肥満度を規定する付着藻類指標は何か？ -15年間の調査データに基づくアユの肥満度と藻類の関係性解析-</p> <p>*白井 峻太 1、堀田 大貴 1、小川 大介 1、井川 裕介 1</p> <p>1.株式会社 建設技術研究所 中部支社 環境室</p>
<p>2016年北海道豪雨災害前後における美生川での河道内樹木の新規侵入特性の検討</p> <p>*久加 朋子 1、山口 里実 2、西山 典志 3、清水 康行 4</p> <p>1.富山県立大学, 2.国立開発研究法人 寒地土木研究所, 3.株式会社 福田水文センター, 4.北海道大学</p>
<p>都市における水鳥の生息地や移動空間として利用される河川の特徴</p> <p>*竹重 志織 1、澤 祐介 2、加藤 和弘 3</p> <p>1.放送大学大学院, 2.山階鳥類研究所, 3.放送大学</p>

<p>海岸・海域・汽水域</p>
<p>仙台海岸における海藻資源の無脊椎動物利用と分解</p> <p>*根岸 淳二郎 1、大越 陽 2、内田 典子 3、大原 昌宏 4、松島 肇 5</p> <p>1.北海道大学大学院地球環境科学研究院, 2.北海道大学大学院農学院, 3.東北大学災害科学国際研究所, 4.北海道大学総合博物館, 5.北海道大学大学院農学研究院</p>
<p>砂浜海岸の健全性を指標するスナガニ属3種の簡易種同定方法</p> <p>*柚原 剛 1、大槻 朝 1、内田 健太郎 1、鈴木 碩通 1、市毛 峻太郎 1、占部 城太郎 1</p> <p>1.東北大学 大学院 生命科学研究科</p>
<p>海岸砂州における徘徊性節足動物群集に対する人工構造物の影響</p> <p>*大越 陽 1、松島 肇 2、根岸 淳二郎 3、大原 昌宏 4、内田 典子 5、平吹 喜彦 6、植野 晴子 1</p> <p>1.北海道大学大学院農学院, 2.北海道大学大学院農学研究院, 3.北海道大学大学院地球環境科学研究院, 4.北海道大学総合博物館, 5.東北大学災害科学国際研究所, 6.東北学院大学教養学部</p>

環境学習
<p>河川体験活動の分析手法としてのウェアラブルカメラの有用性の検討 —児童の行動と発話の記録データをもとに—</p> <p>*吉富 友恭 1、鈴木 享子 1、吉橋 久美子 2、山本 大輔 3 1.東京学芸大学, 2.豊田市矢作川研究所, 3.豊田市環境政策課</p>
<p>緑化学に関わる「環境」「自然」の概念における変遷の整理</p> <p>*高林 裕 1、福井 亘 1、小岩 実穂子 1、植地 俊輔 1 1.京都府立大学大学院生命環境科学研究科</p>
<p>海浜環境の維持管理における地域参画を目指した小学校での環境教育</p> <p>*植野 晴子 1、松島 肇 2、鈴木 玲 3、平吹 喜彦 4、木村 浩二 5、島田 直明 6、大越 陽 1 1.北海道大学大学院農学院, 2.北海道大学大学院農学研究院, 3.北の里浜 花のかけはしネットワーク, 4.東北学院大学, 5.雪印種苗(株), 6.岩手県立大学</p>
<p>キャンパスの景観形成・生物多様性等への関心の醸成を目的とした自然のスクールシンボル選定の試み</p> <p>*吉川 慎平 1、小田 幸子 1 1.自由学園 環境文化創造センター</p>
<p>川学習における児童のコミュニケーションの分析 —ウェアラブルカメラに記録された発話データをもとに—</p> <p>*吉橋 久美子 1、山本 大輔 2、吉富 友恭 3、鈴木 享子 3 1.豊田市矢作川研究所, 2.豊田市環境政策課, 3.東京学芸大学</p>
<p>農村地域の子どものおそびと生態系サービスに関する研究</p> <p>*須藤 朋美 1、長谷川 逸人 2、伊東 啓太郎 1 1.九州工業大学大学院工学研究院, 2.九州工業大学大学院工学府</p>
<p>東京都野川流域における環境活動の空間的把握とその視覚化の検討</p> <p>*中城 美優 1、吉富 友恭 2 1.筑波大学大学院, 2.東京学芸大学</p>

生態系サービス
<p>イベント検索サイトを利用した森林レクリエーションの抽出と分類</p> <p>*小田 龍聖 1、小宅 由似 2 1.森林総合研究所, 2.香川大学</p>
<p>地域住民による河道内植生管理と河川空間利用に関する研究</p> <p>*伊豫岡 宏樹 1、中野 健人 2 1.福岡大学工学部, 2.国土交通省九州地方整備局</p>
<p>遠賀川流域生態系ネットワーク形成の取組</p> <p>*竹本 進 1、花木 良 1、嶋田 久美子 1、宮原 彰 2、山田 将喜 2、坂本 二俊 2、柄沢 祐子 2 1.株式会社 建設環境研究所, 2.国土交通省 遠賀川河川事務所</p>

物質循環
<p>食品残渣由来リサイクル堆肥の水稻栽培への施用に関する研究</p> <p>*大藪 崇司 1、荒井 正英 2、前田 泰芳 2</p> <p>1.兵庫県立淡路景観園芸学校／兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科, 2.五洋建設株式会社</p>
<p>硝酸態窒素濃度の高い溪流における窒素保持機能の評価</p> <p>*笠原 玉青 1、田中 熙一 2</p> <p>1.九州大学 大学院農学研究院, 2.九州大学 農学部</p>

ランドスケープ計画
<p>Space Syntax に基づく青島の海浜公園の景観空間分析</p> <p>*周 楊 1、藤田 直子 2</p> <p>1.筑波大学人間総合科学学術院, 2.筑波大学芸術系</p>
<p>Research on Landscape Characteristics of Tianmeng Mountain Scenic Area in Linyi City Based on Landscape Visual Sensitivity Evaluation and SBE method</p> <p>*徐 夢林 1、松島 肇 2</p> <p>1.北海道大学 / 大学院農学院, 2.北海道大学 / 大学院農学研究院</p>
<p>雑木林の伐採木を利用した堆肥開発&lt;strong&gt;</p> <p>*奥村 悠貴 1、三井 裕樹 1</p> <p>1.東京農業大学大学院農学研究科</p>
<p>棚田保全の現状と将来性—テレワーク移住者は耕作の担い手となり得るか—</p> <p>*鷹尾 慧剛 1、藤田 直子 2</p> <p>1.筑波大学芸術専門学群, 2.筑波大学芸術系</p>

道路
<p>緑化のり面の極表層土被り圧を模擬した低鉛直応力における草本植物根系の地盤補強効果</p> <p>*宇高 優介 1、中村 大 1、川口 貴之 1、三浦 直己 1、宗岡 寿美 2、川尻 峻三 1</p> <p>1.北見工業大学, 2.帯広畜産大学</p>
<p>交通利用停止から約6年経過した旧道における動植物の侵入</p> <p>*松本 昂也 1、内田 泰三 2、荒瀬 輝夫 3</p> <p>1.九州産業大学大学院工学研究科, 2.九州産業大学建築都市工学部, 3.信州大学農学部</p>
<p>SfM (Structure from Motion) 写真測量を活用した侵食試験方法の開発</p> <p>*鍛冶元 雅史 1、中村 大 1、川口 貴之 1、川尻 俊三 1、宗岡 寿美 2</p> <p>1.北見工業大学, 2.帯広畜産大学</p>

ダム
<p>流水型ダムが底質及び魚介類に与える影響評価-鹿児島県西之谷ダムを対象として-</p> <p>*津田 拓海 1、西原 涼平 2、皆川 朋子 3</p> <p>1.熊本大学大学院自然科学教育部, 2.元熊本大学, 3.熊本大学大学院先端科学研究部</p>
<p>新丸山ダム建設事業におけるクマタカの保全に配慮した樹木伐採の進め方</p> <p>*遠藤 慎一 1、竹田 智晴 1、井川 裕介 1</p> <p>1.(株)建設技術研究所</p>
<p>宇治川の河道地形と濾過食者の生態機能</p> <p>*原 直子 1、坂本 菜々子 2、田代 喬 3、土居 秀幸 4、竹門 康弘 5、片野 泉 6</p> <p>1.奈良女子大学大学院人間文化総合研究科化学生物環境学専攻, 2.奈良女子大学理学部化学生物環境学科生物科学コース, 3.名古屋大学減災連携研究センター, 4.兵庫県立大学大学院情報科学研究科, 5.京都大学防災研究所, 6.奈良女子大学大学院自然科学系</p>
カーボンニュートラル
<p>国土交通省屋上庭園における芝地のCO2固定能の推定</p> <p>*黒沼 尊紀 1、渡辺 均 1、今井 一隆 2、手代木 純 2、渡部 亮 3、有賀 淳 3</p> <p>1.千葉大学環境健康フィールド科学センター, 2.公益財団法人 都市緑化機構, 3.国土交通省</p>
<p>バイオマス活用のための油糧作物栽培試験について</p> <p>*小澤 徹三 1、増田 俊二 1、品川 武 1、松井 爽 1、高橋 英樹 1、極楽寺 隼也 1、植野 豊 1、中島 雅之 1</p> <p>1.西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社</p>
環境修復
<p>球磨川流域における迫の地形特性と履歴</p> <p>—迫を活用した流出抑制と生物多様性の保全にむけて—</p> <p>*新垣 俊介 1、一柳 英隆 2、鹿野 雄一 3、皆川 朋子 4</p> <p>1.熊本大学自然科学教育部, 2.熊本県立大学, 3.一般社団法人九州オープンユニバーシティ, 4.熊本大学大学院先端科学研究部</p>
水質
<p>スイレンの繁茂と底泥堆積を伴う富栄養化した浅水人工池の物質収支</p> <p>*辻 盛生 1、和田 洋平 1、鈴木 正貴 1</p> <p>1.岩手県立大学総合政策学部</p>

環境マネジメント
<p>The Allelopathy Effect of Egeria densa Fresh Tissue Extracts on Cyanobacteria Inhibition          *Wijesinghe Ashika1、M.D.H.J. Senevirathna1、Fujino Takeshi1          1.Saitama University</p>
その他
<p>大峯奥駈道における江戸時代と現代の利用の違いとその影響          *中野 雄太 1、中島 敦司 1          1.和歌山大学</p>
<p>電子野帳による調査の高度化とデータ整形の自動化 ～Available な調査データが自然に蓄積していく仕組み作り～          *野村 大祐 1          1.株式会社建設環境研究所</p>
<p>河川流域の歴史的景観を復元する研究手法 -16世紀後半筑後川下流の城館から②-          *中西 義昌 1          1.北九州市立自然史・歴史博物館</p>
<p>短期ワーケーションが都心勤務者の心理に与える効果          —奥能登における事例—          *荒井 菜穂美 1、梅原 瑞幾 1、岩城 慶太郎、岩崎 寛 1          1.千葉大学園芸学研究科</p>
<p>ゲームエンジンによる洪水流の可視化:伝統的治水システムの表現の試み          大槻 順朗 1、上條 彩華 1、*牧野 惇士 1、佐藤 隆宏 2、長谷川 英一 2          1.山梨大学, 2.日本工営株式会社</p>

## 【研究集会】

自由集会 9月21日(水)～9月23日(金) ※日時調整中
生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関するガイドラインの検討状況について
日本緑化工学会 生態・環境緑化研究部会 30by30 を見据えて進める「地域性種苗」緑化の取り組み
現場で短時間にできる環境 DNA 分析
応用生態工学会の災害対応
天然記念物指定から102年・田島ヶ原サクラソウ自生地保全の今後 -自然科学緊急調査検討会による調査結果から見えるもの-
OECMで生きる!生物多様性に配慮した緑化学
自然資本を活用していくためのローカルガバナンス
ダム水源地生態研究の進展(仮)
河川・ダムに関するデータベースについての意見交換会
グリーンインフラ地域実装のプロセスと求められるアクション
アニマルウェルフェアの考え方に配慮した動物実験・調査を考える(仮題)
ポストコロナ時代の魅力的な都市緑地を考える
田んぼのいきものをどうやって守っていくか?—水田水域における多様な生物の保全と再生—その⑥
高強度の降雨に対応する斜面緑化を考える(案)
生態系のレジリエンスと修復・緑化
i-Treeによる生態系サービス評価 -事例紹介と今後の課題